

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



日本医療機能評価機構



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 38



さくら病院 院長
江頭 啓介

三月十一日午後二時四十六分に発生した未曾有の大災害である東日本大地震により被災された地域の皆様、関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

また、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

さくら病院、並びに職員一同といたしまして、医療支援や義援金などの支援活動を行ってまいり所存です。

被災地の日も早い復興を心より祈念申し上げます。

今年は例年になく寒い日が続いておりますが、病院近くを流れる川の岸にもいつのまにか菜の花が咲き、引き続いて桜の花の咲く春爛漫の季節となりました。依然として、東日本では余震が続き、その被害の全容も完全には把握できないような状態ですが、「やはり季節は巡ってくるのだ」と、例年になく複雑な思いをいただいております。

今は国民皆が助け合い、支え合って前に進む時であるとの思いを新たにしています。いつまでも続く不幸はありません。

与謝蕪村の句「菜の花や月は東に日は西に」に謳われた美しく暖かい春が一日も早く被災地に到来することを願いたいと思います。

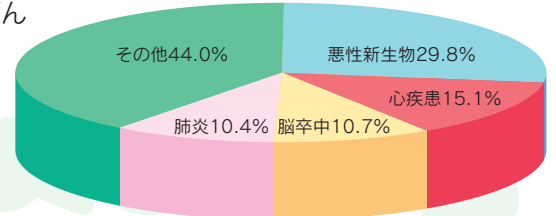
胃がん、大腸がんについて

医師 宮崎 正史

現在、日本の総人口は約1億2千600万人で、年間の死亡者数は約120万人です。死亡者の内訳を見てみると、死因の第1位は悪性新生物(がん)で、約30%を占めます。3~4人に1人ががんで亡くなっています。がんになる人を少なくする、がんで亡くなる人を少なくすることが、元気に生活できる時間を増やしていくために重要な課題になっています。

がんの中でも、胃がんと大腸がんで死亡する人が現在多い状態です。がんの中の死亡率を見てみると、男性では、胃がんはがんの中で第2位、大腸がんは第3位です。女性では、胃がんが第3位、大腸がんは第1位とやはり上位を占めています。

日本人の死因



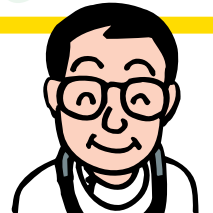
データソース: 厚生労働省 人口動態統計

胃がんについて

日本は世界の中でも非常に胃がんが多い国で、欧米と比べ、胃がんになる確率が2倍以上とされています。以前は、胃がんは日本人のがん死亡で最も多かったのですが、1970年代以降緩やかに死亡率が低下しています。ただし、胃がんの罹患率、つまり胃がんになる率は、死亡率ほどには低下していない、または罹患率は変わっていないとも言われています。それなのに死亡率が下がったのは、胃の検査を受ける人が増え、がんが早期発見され、完治する人が増えたのではないかと、そのため、胃がんで亡くなる人が減ったためではないかとされています。

まとめ

胃がん、大腸がんにならないようにすることが理想的ですが、現在はこうしなければならないという方法はありません。そのため、早期発見することが重要です。胃がん、大腸がんはともに早期では症状がないことが多いため、早期発見するためには健診や人間ドックで検査を受けることが一番よいと思います。内視鏡検査やバリウムの検査、検便を定期的に受けていくことが重要です。



大腸がんについて

大腸がんは、以前は欧米に多い病気だと言われていましたが、最近では日本も同じ位、罹患率、そして死亡率が上がりました。大腸がんの罹患率、つまり大腸がんになる率が上がったのは、食生活の変化が原因ではないかとされています。確かに以前と比べ、牛肉など肉類を食べる量が日本人は増えました。欧米でも肉類を多く食べる人は大腸がんになりやすいのではないかとされています。

そして胃がんの現状と違うのは、大腸がんになる人が増え、同時に死亡率も上がったことです。つまり早期発見が、胃がんのようにできていないため、死亡する人が多くなったのではないかと思います。

外環状道路/バス路線社会実験



今年1月29日から3月末まで、外環状道路の地下鉄七隈線福大前駅と西鉄天神大牟田線大橋駅とを結ぶ新たなバス路線で結ぶことで、鉄道が利用しにくい沿線地域の方の利便性向上を目的に社会実験が行われました。

さくら病院は西片江1丁目バス停が最寄りのバス停です。

※なお、この社会実験は、4月24日まで延長が決定されました。



ワクチンについて

薬局長 藤崎 浩二



肺炎球菌ワクチンとヒブワクチンの同時接種直後に2011年3月2～4日の3日間で5人の乳幼児が死亡したと報じられました(3月9日現在)。まず亡くなったお子様とご家族に心からの哀悼の意を表します。

3月8日の厚生労働省の会議では「死亡とワクチンとの因果関係は肯定も否定もできない」との意見で一致し、個々の症例や両ワクチンを同時接種した場合の安全性に関する情報が少ないとして引き続きサスペンド(一時接種見合わせ)状態となっています。この状況に対し海外メディアでは、「日本で子供にとって重要なワクチンがサスペンド状態にある!」という記事があちらこちらにもう出ています(ちなみにWHOからこの日本の状況に問合せがきているそうです)。さらに、同時接種の是非まで話し合われています。同時接種が当たり前の世界の人達にとって「同時接種が問題なのか? 単一接種なら安全なのか?」を論じている状況は、おそらく「カレーとご飯を一緒に口に入れるな、別々に食べる」と言われているような感覚だと思います。

情報が少ない状態で、連日の報道の中で最も怖れることは、本件を機に「やはりワクチンは危険」という一方的な考え・主張が支配的になり、皆さんがワクチンを忌避するようになるということです。この2つのワクチンは小児の細

菌性髄膜炎を非常に高い確率で予防してくれます。これらのワクチンはまだ日本に導入されて日が浅く(ヒブワクチンは2008年12月、肺炎球菌ワクチンは2010年2月)、そのため日本では最近でも毎年何百人という子供が細菌性髄膜炎にかかり、そのうち1～2割の子供が命を落とし、3割の子供が重い後遺症で苦しんでいます(ヒブによる髄膜炎にかかる子供が年間約400人、肺炎球菌髄膜炎が年間約140人)。諸外国では10～20年前に既にこの2つのワクチンが導入され、小児の細菌性髄膜炎が劇的に減りました。日本に当てはめると、日本の全ての小児がこの2つのワクチンを接種すれば、今まで亡くなってきた年間数十人～数百人前後の命が救われるようになるはずです。厚生労働省が引き続き接種中止をしたのは現時点ではしかたのないことだと思います。しかし、どこかで接種再開の決断が必要となると思っています。因果関係の調査と、接種再開の決断はとても難しい作業です。今日の時点で簡単に結論を出せる医療関係者は日本中に1人もいないはずです。みなさんはどうか厚生労働省、感染症専門家、医師・医療職からの説明を冷静に落ち着いて聞いて頂くことを願います。

さて、どんな医療行為にも程度の差こそあれ、それによってもたらされる利益、その医療行為に関連するリスクが存在します。ワクチンの場合は基本的に健康な人に接種するので、なおさら接種したために起こる被害は他の医療行為と異なるとらえ方をされます。利益についてもリスクについても評価するためには、信頼にたる精度の高い情報が必要なのですが、日本ではその情報を得るためのモニタリングもサーベイランスも確立していません。例えば、今回緊急

予算のついたHPVワクチンの有効期間が未確認であることを知っている人がどのくらいいるのでしょうか? 有効期間のデータが無いため3回接種したからといって一生生涯予防効果があるかは分からないのです。海外では20年スペインの疫学調査を準備して地道にコツコツ進めています。日本では将来の有効性の確認をどのようにするのかという準備がないまま接種がはじまりました。データが無いのもさることながら、そもそもそのような不備のままGOサインを出したのが誰なのかよくわからない状況(無責任状態)があります。

最後に、0歳児に集団接種しているポリオの生ワクチンの問題をご存知でしょうか? 生ワクチンは病原性を弱くした生きたウイルスによるワクチンです。生きたウイルスを経口接種するので、当然感染するリスクはゼロではありません。国内で1980年以降ポリオの生ワクチン接種による感染者は18人、うち8人は乳児の便などを介しての家族の2次感染でした。ですから日本以外の先進国では生ワクチンは使用されておらず、不活化ワクチン(狭義な意味で病原性を無くした死んだウイルスによるワクチン)が使用されています。今現在この生ワクチンの問題を知っている医療関係者や海外経験の豊富な人たちの中には、自分の子供のポリオワクチンは生ワクチンではなく、自費で不活化ワクチンを購入し接種している人もいるということです。知っている人だけが知っている、知らない人は知らない情報でした。



品質方針

医療法人社団 江頭会 さくら病院は、顧客第一主義を基本理念として、良質の医療・介護サービスの提供と働きやすい職場づくりの改善を継続的に行ってまいります。

そのために人間性、知識、技術の3点を合わせて、個々のレベル向上と個々を基盤とした確かな組織づくりを継続的に行ってまいります。具体的には、以下の3点に集約し推進します。

1. 顧客のニーズと期待、及び法令・規制要求事項を把握し、これらに適切な医療・介護サービスを提供いたします。
2. さらに魅力ある切れ目のない医療・介護サービス提供を目指し、医療・介護サービスの有効性の継続的改善を行ってまいります。
3. 顧客のプライバシー保護には特段の配慮を致し、手段については有効性の継続的改善を行ってまいります。

2010年3月26日 医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長 江頭 啓介

病院の診療指針

- 1、一期一会を大切に
- 2、友愛ともにいたわりともに励ます
- 3、医療は信頼から
- 4、多忙な中にも対話を忘れずに
- 5、医療サービスは深い思いやりをもって
- 6、慢心は敵、安全医療に徹する
- 7、快適な職場づくりは
ひとりひとりの心掛けから
- 8、救急協力は無償の愛をもって
- 9、向上心をもって医療に取り組む

看護サービスの基本理念

- 1、患者様との触れ合いを大切にし、安全で思いやりのあるケアを行う。
- 2、医師及び他部門と協働し、働きやすい職場づくりを行う。
- 3、看護・介護の質の向上をめざし、自己研鑽を重ねる。
- 4、地域・医療・福祉との連携を図り、継続したケアが提供出来るよう取り組む。
- 5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で業務改善を行う。

さくら病院の患者権利7カ条

- 1、だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 2、だれもが、一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
- 3、病気、検査、治療、見直しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受け、治療方法を自分の意思で選ぶ権利があります。
- 4、地域・医療・福祉との連携を図り、継続したケアが提供出来るよう取り組む。
- 5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で業務改善を行う。

医師の意見（セカンドオピニオン）をお聞きになりたいという御希望も尊重いたします。

4、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

患者様とさくら病院は診療情報を共有しつつ、共同作業者として治療を進めてまいります。

5、診療の過程で得られた個人情報、秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

さくら病院は、個人情報、秘密の保持や私生活をみだりにさらされないようにという患者様のプライバシーの権利について、厳正に取り扱ってまいります。

6、納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する権利があり、同時に治療の指示を守る義務があります。

患者様が、治療等に関する十分な説明や情報提供により納得のいく医療を受けていただくために、そして治療法等を自分の意思で選択していただくためにも、分からないことがあれば何度でもさくら病院職員に質問していただくようお願いいたします。

7、すべての患者様が適切な医療を受けられるようにするため、患者様には、他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないように配慮する義務があります。

病院では、職員が数多くの患者様に様々な医療を提供しています。そのため、患者様は通常の社会生活にはない制約を受けざるを得ないこともあります。このことを十分御理解していただき、適切な医療の提供に御協力くださるようお願いいたします。

さくら病院の職員は、患者様とのコミュニケーションを大切に、患者様の理解を助け、納得が得られるように努めています。また、治療方法の選択については患者様の意思を尊重いたします。なお、別の



福岡市救急病院協会 海外救急医療研修 報告

2月10日より3日間シンガポールへの海外救急医療研修団25人に王寺副院長とともに参加しました。シンガポールは淡路島程度の広さのシンガポール島におよそ500万人の多民族が暮らす国家で、7割が華人ですが英語を中心に中国語、マレー語、インドネシア語など様々な言葉が飛び交う活気のある国です。主な産業は世界一のハブ空港、チャンギ国際空港を擁する流通と観光で、いろんな人種の人が歩いておりひと目で現地の人かどうかの区別はつかず、色々な言語で話しかけてきます。緑が多く、道路も広いとてもきれいな国です。

病院も1000床前後の国立、市立のものが多くあり、私たち一行はその中の中堅国立病院チャンギジェネラルホスピタルを見学させていただきました。病院なんてそんなに変わらないのではと思っていましたが、やはり国が違えば全くシステムが異なりカルチャーショックを受けました。一番驚いたのが払う金額によって受けられるサービスに大きな差があることです。外来、入院ともに自費のAランクから国の援助が7割受けられるCランクまで分けられています。Aランクは外来ではふかふかソファの予約制で、入院費は1日2万円程度ですが個室でトイレ、シャワー、電話に、テレビにインターネット、エアコン付きです。Cランクの外来は日本の病院に近い感じですが、入院が1日2千円程度で、8人部屋、エアコンさえありません。ただ急性期の目安が5日間ということなの

で我慢できるかもしれませんが…。救急は一律約5500円必要です。救急車は医師により不必要だったと判断されれば自費になります。ただ安心なのは受けられる医療は同じだということです。

自由行動では発祥の地であるナイトサファリ、2010年6月にオープンして地上200メートル屋上プールが話題のマリーナベイサンズスカイパーク(宿泊者以外はプールに入れません)、マライオン公園など楽しい時間を過ごしました。

シンガポールは治安がよく、移動の電車、タクシーも安く、人も親切でとても良い国だと感じました。

診療放射線技師 中島孝一



平成22年度 さくら病院活動報告

H22年 4月	新人オリエンテーション(前期) 16列マルチスライスCT導入
6月	第12回さくらフォーラム (タカラホテル福岡) 消防避難訓練(前期)
7月	H22年度1回目 ボランティア・スタッフ 学びと交流のつどい 2内科 セタ会
8月	第12回さくらグループ業務改善コンテスト (山の上ホテル) ビアパーティー(山の上ホテル) 心電図電子保存システム稼働 H22年度1回目 医療安全管理研修開催
9月	ISO外部審査受審
10月	H22年度2回目 ボランティア・スタッフ 学びと交流のつどい 新人オリエンテーション(後期)
11月	地域モニター会 H22年度2回目 医療安全管理研修開催
12月	消防避難訓練(後期)
H23年2月	新年会(ホテル日航福岡) H22年度3回目 ボランティア・スタッフ 学びと交流のつどい
3月	2内科 ひなまつり会 H22年度3回目 医療安全管理研修開催

平成22年度 入職者

平成22年 4月

松口 悦子
松嶋 珠里
小原 章子
友弘 順子
森永 華奈
阿部 敏子
矢野間 亜希子
高橋 俊介
後藤 優介
立石 光二
藤本 珠美
山下 雅子

5月

志佐 鐘治
廣田 美奈

6月

岩崎 敬雄
知念 正明
野上 聡子
7月
矢羽田 浩美

8月

兼子 寛美
松本 梨佐
9月
田中 裕子
安川 千恵美
永田 秀次郎

11月

日高 章恵
渡邊 美佐子
大崎 さえ子
井上 雄二

12月

平田 純子
白男川 尚子
蜂須賀 聡
江島 千恵美
松浦 早紀

平成23年 1月

宮田 満寿美
高宮 友美

2月

松山 智子

モニター会

報告

私

がさくら病院で受付勤務となり三年が経とうとしています。思い返すとこの三年の間で様々な事がありました。病院の受付にはあらゆる方がお越しになります。診察の方はもちろん、健康診断や業者様対応まで、多忙な中でも迅速かつ丁寧な業務をこなしていかなければならず、その経験が糧となり、今に至ります。

そんな中、先日地域モニター会議が開催されました。地域モニター会議とは、さくら病院の活動報告と共に、さくら病院にかかりつけの地域の皆様より、普段からの病院に対する意見を頂戴するという貴重な会です。日々受付に立ち、多くの患者様と接していてもなかなか患者様同士の本音を聴ける機会などありません。私は、どんな会議なのだろうと興味を持って参加させて頂きました。

会議が始まった途端、患者様からのご意見が飛び交いました。喫煙所、診察の待ち時間、受付の対応など、納得させられるものばかりでした。また、患者様の視点ならではの意見もあり、スタッフとして働いているだけでは決して気付かない指摘も受けました。

私は、このモニター会議に出席して、受付も医療スタッフの一員である事の再認識をさせられました。病院受付は、ド

クターや看護師と違い、治療の責務もあまりない為、今まで「誰でも出来る仕事」だと私は思っていました。

しかし、患者様が来院されて一番に目に入る場所が受付。病院のスタッフの最初に電話に出るのも受付。そんな病院の第一印象を担う受付が配慮にかけた接遇では、患者様にいくら良質な医療を提供しても、台無しです。

受付のスタッフにしか出来ない医療サービスを提供はたくさんあるはずですが。これから、病院の顔として、接遇は笑顔で、精進して参りたいと思います。

さくら病院 医事課 受付

松永 えり菜



1 内科接遇研修

医療は「何業？」って聞かれたら皆さんは何と答えますか……そうですね……皆さんもご存知の様に医療は「サービス業」なんです。

では、「サービス業なのに何故こんなにクレームがなくなるんだらう」と思ったことはありませんか。こんな疑問から、1内科では、「接遇・クレーム対応」についてのロールプレイ方式で勉強会を行いました。

一般的に病院でよく起こるクレームとして「高度で的確な治療が受けない」、「待ち時間が長い」、「自分の訴えを聞いてくれない」などがあると言われます。そこでロールプレイのテーマを、「夜間帯にナースコールを押してもなかなか来てくれないと立腹されている患者様の対応」について、患者役と看護師役に分かれて行いました。



実際スタッフ間でやってみて、「改めて患者様の気持ちを考える事ができ、日々のナースコール対応時に対して反省すべき点や隠された真意があることなど良い振り返りができた。」という声を聞くことができました。さらに、「不平や不満は自分が個人としてきちんと扱われないことから発生するという事」にも気づく事ができました。

患者様と接する時間が一番長いのが看護師、介護士です。この勉強会で得たことを今後に生かしていきたいと思いました。

最後に平林都著「接遇道」という本の中の一文をご紹介します。

『この世で一番接遇が必要な場所は病院である』

●開放型病院登録医療機関で紹介●

循環器内科・内科

瀬戸循環器内科クリニック



院長 瀬戸 拓 先生

〒814-0144
福岡市城南区梅林2-27-13
TEL 092-874-1877
FAX 092-874-1876
URL <http://www.seto-junkanki.com/>



新たに登録医療機関として登録しました「瀬戸循環器内科クリニック」の瀬戸と申します。

昨年12月に福岡大学病院南口交差点の角にクリニックを開業いたしました。生まれ育ちは鹿児島で、卒業は産業医大、出身医局は九大循環器内科です。

九州大学病院 救命救急センター・集中治療部、済生会福岡総合病院 循環器内科・救急部、福岡市立玄界診療所勤務などを経て、開業に至りました。

これまで循環器内科、特に循環器救急疾患の診療に携わってまいりましたが、その経験を生かして、専門的な循環器診療を提供するとともに、地域の「ホームドクター」「かかりつけ医」としてプライマリーケアを担う所存です。

当院の診療基本方針の一つに、「二期一会」と「一人を大切に」を挙げておりますが、貴院さくら病院の診療方針にも「二期一会」の言葉が掲げられており、深く感銘を覚えました。

「二期一会」という「茶の湯」に端を発した古来の教えですが、医療の現場、特に救急の現場にも十分通じる心得であること、日常診療の中に実感いたしました。

若い医師たちにその大切さを伝えるだけでなく、自分自身への戒めとして、心に深く刻みながら日々の診療を行ってまいりましたが、一実地医家としても初心を忘れず、患者さんに向き合おうとしています。是非、病診連携を推進して、地域の医療レベルの維持向上に貢献させて頂きたく、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

2月28日、回復期リハビリ病棟（2内科）では、ひな祭り会を催しました。

いつも、腰や足の痛みに耐え、社会復帰に向け頑張っている患者様に笑顔になってもらいたいと、2ヶ月前から「エイサー」踊りの練習や飾り付けの準備を始めました。当日は、皆様から手拍子や拍手で盛り上げていただき、ボランティアの方より三線や手品を披露して花を添えていただきました。

発声が難しい患者様が大きな声で唄い、手を動かしづらい方が手拍子をしたりと、リハビリ訓練中には見られない、自然な動作と満面の笑顔をみる事ができました。

皆様の笑顔を見て、元気になってもらいたいと企画したひな祭り会でしたが、逆に私達が感動し、元気を頂き、温かな気持ちになれた時間を過ごすことができました。今後も入院生活の中で「楽しみ」と言っていただけのような催しを企画していきたいと思ひます。



さくら病院では「医療連携室」と「医療相談室」を2つの柱として相談窓口業務を行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

【病診・病病連携のご案内】

地域の病院・診療所と連携をとるために医療連携室を設けております。
患者様の病気や症状に応じ、「診療所と病院」、「病院と病院」、「病院・診療所と特定機能病院」が連携を密にし、患者様へ適切な治療を行えるよう、検査・入院体制を整備しています。

「医療連携室」「医療相談室」のご案内

「医療連携室」

患者様へ適切な医療の提供が行えるよう、地域の診療所や病院、在宅サービス事業所等との連携に努めています。

「医療相談室」

退院後の生活に対する不安、福祉や介護サービスについて、経済的な問題、入院相談等についての相談を承っています。お気軽にお声をおかけ下さい。

医療連携・相談室 TEL 092-864-1212 FAX 092-865-4570

担当者	医療連携室長	楠原 浩之	相談受付		
	室長	南里 幸嗣	平日	午前9:00～午後5:00	
	医療ソーシャルワーカー	小川 美和	土曜日	午前9:00～午後12:30	
		松本 梨佐			



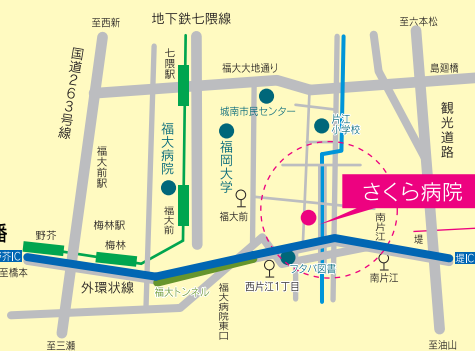
■さくら病院では、セカンドオピニオンのご相談にも応じています。まずは、お電話でお問合わせください。

外 来 診 察 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)
	第3診察室	中馬 内科	村上 内科/心療内科	天野 内科/胃腸科	知念 内科/胃腸科	岸 内科/心療内科	井手 内科/糖尿病外科
	第5診察室			岩崎 リハビリ・整形外科			
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	
	第2診察室	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	石津 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/消化器科(肝臓)	秋満 内科/循環器	
	第3診察室	村上 内科/心療内科		佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	知念 内科/胃腸科	
	第5診察室			田中 内科/胃腸科			
専門外来(予約制)	午前				渡辺 呼吸器内科外来	岡崎 放射線科外来	
	午後	馬場 神経内科外来		石津 佐々木(靖) 血液・腫瘍外来 循環器外来	楠原 早田 肝臓外来 肝臓外来	安部 脳神経外科	

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)
- バス(西鉄バス西片江1丁目バス停下車)
西鉄バス系統番号
(天神方面より) 12,13,14,61,114,140番
(西新・飯倉方面より) 95番
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番
(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18,61,64,95番
- 車(病院裏手に専用駐車場があります)
天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら

社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会
特別養護老人ホーム ライフケアしかた

高齢者安心ハウス
あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15

TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/> (4月1日ホームページを更新いたしました)

直通TEL

1内科 092-872-5611
2内科 092-872-5612
3内科 092-872-5613
事務所 092-801-7386
ユニット 092-872-5615